

1 目的

この選考試験は、令和9年度の岡山県公立学校（岡山市立学校を除く。）教員の採用候補者の選考資料とするため、岡山県教育委員会が実施する。

2 求める教員像

岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員

- 本県の教育課題である学力向上や徳育、生徒指導に関する確かな指導力のある人
- 地域の教育資源の活用やキャリア教育により、学ぶ楽しさや学ぶ意味を伝える人

強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員

- 本気で子どもたちと関わる中で、教員としての喜びや意義を見いだせる人
- 子ども一人一人の良さを認めて、子どものやる気を引き出すことができる人

多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員

- 多様な経験や校内外での研鑽により、専門性やコミュニケーション能力を高める人
- チームの一員として協働する中で、自ら行動するとともに他者にも働き掛け、必要に応じて支援しようとするリーダーシップを発揮して課題解決に当たることができる人

3 選考する校種・職種及び採用候補者見込数

校種・職種	採用候補者見込数	教科（科目）等の区分
小学校教諭等 〔小学校教諭等（地域枠）〕	若干名	
中学校教諭等 〔中学校教諭等（地域枠）〕	若干名	国語、理科、美術、技術、英語
高等学校教諭等	若干名	英語、工業
特別支援学校教諭等	若干名	
身体に障害のある者を 対象とした選考	若干名	身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者を対象に、上記全ての校種・職種で選考を行う。

注意（1）地域枠の採用候補者とならなかった場合でも、出願した校種・職種の中で、地域枠以外の者と合わせて更に選考し、採用候補者となる場合がある。

（2）所有免許状に相当する学校種別により、いずれか一つの校種・職種、教科（科目）等を選択すること。

4 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者

- 1 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者

※ 学校教育法第9条に定める教員等の欠格事由の一つ「拘禁刑以上の刑に処せられた者」には、次の期間にあるものも含まれる。

- ・拘禁刑以上の刑に付された執行猶予の期間
- ・拘禁刑以上の刑の執行を終わり、又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間

- 2 「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」第2条第8項に規定する「特定性犯罪事実該当者」に該当しない者

- 3 出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

※ いずれの免許状についても教員資格認定試験による取得見込みは除く。

ただし、次の表に示す校種・職種等を受験する者については、それぞれ示した出願要件を全て満たすこと。

（表中の教諭普通免許状所有者については、令和9年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

校種・職種等	出願要件
特別支援学校教諭等	特別支援学校、盲学校、聾学校、養護学校のいずれかの教諭普通免許状所有者 ただし、基礎となる教諭普通免許状が幼稚園教諭普通免許状のみの場合は、知的障害者教育領域の特別支援学校教諭普通免許状又は養護学校教諭普通免許状の所有者であること。
小学校教諭等（地域枠） 中学校教諭等（地域枠）	出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状の所有に加え、津山市・高梁市・新見市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西栗倉村・久米南町・美咲町で原則として採用後10年以上勤務可能である者

- 4 昭和42年4月2日以降に生まれた者
- 5 特別選考E②の出願要件に該当し、**令和9年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験を受験していない者**
- | | |
|---------------------------|--|
| 特別選考E②
出 願 要 件 | 出願時に県外の国公立学校に教諭等又は養護教諭（いずれも正規教員）として勤務し、かつ出願時に2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の正規教員としての勤務経験に限る。）がある者 |
|---------------------------|--|
- 6 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者は、身体に障害のある者を対象とした選考に出願することができる。

＜初任地希望・小学校専科希望＞

- 1 小学校教諭等（地域枠を含む。）に出願する場合は、電子申請の「初任地」欄に、岡山県内の26市町村（岡山市を除く。）のうち、自身が配置を希望する1市町村を入力することができる。配置に当たっては、可能な範囲で希望に沿うよう配慮する。ただし、希望の市町村とならない場合がある。なお、希望の有無及び選択する市町村は合否に影響しない。
- 2 中学校教諭等（地域枠を含む。）のうち、理科、英語に出願する場合は、電子申請の「小学校専科への配置可否」欄に、小学校の専科教員としての配置の可否を入力できる。可と入力し、採用候補者となった者は、初任配置校が小学校となる場合がある。なお、配置可否の内容は合否に影響しない。

5 選考に当たって考慮する事項

考慮する事項	校種・職種等			
	小	中	高	特
(1) 部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること	○	○	○	○
(2) 学校図書館司書教諭の資格を所有していること	○	○	○	○
(3) 特別支援学校教諭普通免許状を所有していること	○	○	○	
(4) 社会教育主事になり得る資格を所有していること	○	○	○	○
(5) 中学校教諭普通免許状（英語・数学・理科）又は高等学校教諭普通免許状（英語・数学・理科）を所有していること	○			
(6) いずれかの教科（英語・数学・理科を除く。）の中学校教諭普通免許状を所有していること	○			
(7) 各資格・検定において＜表1＞に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること	○			
(8) 小学校教諭普通免許状を所有していること		○		
(9) 複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること		○		
(10) 高等学校教諭普通免許状（情報）を所有していること			○	
(11) いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること				○

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になり得る資格については、令和9年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和9年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

＜表1＞

対象	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEICBridge L&R/S&W	TOEIC L&R/S&W
選考に当たって 考慮する事項	小学校教諭等	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	170以上 1150以上

※ TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで基準を満たすこと。また、公開テストによるスコアのみを対象とする。

※ 有効期限がある認定書等は出願の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。